

「選ばれる学校」への変貌

学校長 太田 清史

「学校スローガン『To Be Human(人となる)』を基盤とする仏教教育を展開する」という教育目標を掲げて三年前に策定しました、二〇一二年四月から十年間の本校の中・長期計画(グランドデザイン)の、本年度は第一期目の総括年を迎えました。

グランドデザインは「教育に関する方針」「生徒募集・進路指導に関する方針」「学校経営に関する方針」の三分野で構成されていますが、中でも生徒募集・進路指導に関しては、「生徒募集定員一〇〇%確保の達成と大谷大学との更なる連携の強化、国公立大学および難関私立大学進学者数の増加を目指す」とし、それぞれのコースごとに目標値を設定して臨んでいます。昨年度はすでにこの目的をほぼ達成し、ことに高校の生徒募集においては、定員を大幅に超過しての新年度を迎えたことでした。進路指導についても、数値目標は大幅にクリアできたものの、残る課題は質的な目標を達成することです。

そこで、新年度最初の職員会議において、表題の『「選ばれる学校」への変貌』を本年度の学校方針として発表致しました。

つまり私たちが生徒さんを「選ぶ」のではなく、「どうしても大谷に入学したい」と生徒さんや保護

者の皆さんに思っていただけけるような、「第一志望校」に位置付けられる学校に生まれ変わりたいということです。「選ばれる学校」の一例としては、「大谷に行くのが、難関大学への一番の近道だ!」と思っていただけけるような学校づくりであり、また部活動などで常に全国大会に出場しているというような実績を重ねることです。

そのためには、学習面においては、生徒一人ひとりの学力の査定に基づいた適切な学習指導を行い、課外活動においては、指定クラブを中心に優秀な特技生を確保して、監督の指導力によって従来以上の能力とチームワークを引き出すことでありましょう。

要は教師力の向上が、「選ばれる学校」となるための喫緊の課題であるということですが、「楽しい大谷」の評価は残しつつ、「選ばれる学校」に変貌して参りたいと存じます。